

もみじ

—広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 安佐北消防署合同訓練 (3/1・2 南原峡) 報告
2. 登山教室 (3/18~19 比婆山連峰) 報告
3. 岳連短信 (寄贈御礼、3~4 月の行事予定)

1. 安佐北消防署合同訓練報告

(指導部長 森本 覚)

昨年は新型コロナの影響で中止でしたが、今年は無事実施されました。

目的：山岳救助活動技術の向上と広島県山岳・スポーツクライミング連盟との更なる連携協力関係を強化する事を目的とする。

実施日：3月1日(水)、2日(木)の2日間

実施場所：広島市安佐北区可部町大字南原 西冠山登山道付近一带

実施機関：広島市安佐北消防署 中島救助隊、広島市消防局 広島市消防航空隊

実施内容：山岳救助事故を想定した救助訓練

岳連への協力依頼：各日アドバイザー2名以上

昨年は中止した事もあり、7月から担当の方と連絡を取り合い、内容の調整しました。「地図の見方がわからない」や「普段登山をしないのでどこを探して良いかわからない」との声が有りましたので、要救助者捜索訓練からは始める事として講習場所の選定からアドバイスさせて頂きました。

以下、合同訓練の内容です。

3/1 天候：晴 9:30 南原峡駐車場集合

要救助者役の消防隊員に岳連メンバー1名が同行し入山、約10分後要救助者からの情報を基に捜索を開始。要救助者発見後は引き上げ救助訓練、登山道搬送訓練、ピックアップポイントの判断、ヘリコプターとの連帯訓練、下山、意見交換等という流れを無事終了。脆弱な立木を使っての支点の構築方法をアドバイスしたとの同行の岳連メンバーから連絡が来ました。

3/2 天候：雨のち雪

メンバー交代で同様の訓練を開始。私はこのチームの捜索隊に同行し随時アドバイスを行いました。登山道具の携帯方法、コンパスをセットする時のウエイポイント、川沿いの登山道の渡渉ポイント、谷をつめるか尾根にラインを取るべきか等々。

要救助者の声が聞こえて直接コンタクトがとれる場所に到達してからの行動は素早かったです。現地に到着すると要救助者役の隊員が雪の中待機していました。要救助者役に同行していた岳連のメンバーが先ずセルフビレイを取るようアドバイスをしていました。

この日は天候が悪い為ヘリとの連帯訓練は行えませんでした。ピックアップのポイントについて教えて頂きました。航空隊員が降りてくる場合はダウンウオッシュで枝が広がるので頭上の状況は1メートル四方のスペースがあれば降りて来られるそうです。(バスケットストレッチャーを使う場合はもう少し広さが必要) 降下ポイントを知らせる為にミラーやライトが有効。目立つも色良い。上からでは樹木などの高

さの判断ができない為、高さの情報を知らせると航空隊は助かるそうです。陸上ではダウンウォッシュに備えて物が飛散しない様に片付けておく事も重要です。

その後、脆弱な立木を使つての支点の構築方法をアドバイスした後下山、意見交換の後解散となりました。

毎回参加して思うのですが救助隊の連携のとれた救助の姿勢は私たち岳連遭難対策メンバーも見習うべきだと思うと共に、彼らが出動しなくてすむ様に安全登山の普及に努めなくてはならないと改めて思います。今後も更に消防関係者の皆様と連携協力関係が強化できる様に我々も技術の向上に努めたいと思います。



2. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第 12 回 3/18(土)～19(日)

登山形態：テント泊縦走

山城：比婆山連山

人数：9名 (スタッフ含)

今回は修了山行で比婆山に行って来ました。今年度の登山教室修了生は新型コロナの影響で延期や中止が度重なり、リモート講習や個別テント泊等変則カリキュラムで実施した学年でした。その為、実施できてなかった雪上テント泊を今回実施する事で全課程を終える事ができ、全員、無事修了されました。(森本)

【感想文】

『最後の登山教室』

(登山教室 2 年 松井 邦幸)

金曜の夜にバタバタと山行準備を済ませ、登山教室が始まった頃は徹夜で準備していたよなと感慨深くなったところで、登山モードに気持ちが切り替わり、最後の教室が始まった感じでした。

最終登山は朝 8 時、ひろしま県民の森公園センターからスタートし、一つ目の山頂の毛無山を目指すところから始まりました。

出発直前まで雨が降っていた模様で路面は濡れていましたが、その後天候は徐々に回復して行きました。

思い起こせば、我々の学年は 2 年間を通じて、悪天候の予報が外れて天気が好転することが多々ありました。幸運が続いたとも言えますが、逆のパターンもあり得るので、教室を離れた後も、山行中の天候の変化に注意を払って安全登山を楽しんでいきたいと思っています。

山は春めき、霧にかすんでおり、雪は山陰に残るくらいでした。

毛無山山頂に到着後、出雲峠を通過し、二つ目のピークである烏帽子山を目指しました。

途中の尾根にまだ雪が残っていたので、ここから登山道を外れてこの尾根を登ることになりました。

この尾根をゼイゼイ言いながら直登したのですが、後に森本 CL から、以前教わったダイヤゴナル歩行で体力を温存する様注意を受けました。なかなか応用が

利かないものです。

烏帽子山山頂到着後は、大膳原キャンプ場の避難小屋を目指して下山し、避難小屋で不要な荷物を残置して、次の頂上、吾妻山を目指しました。

吾妻山山頂に到着した頃には、霧が少しづつ晴れてきて、山頂から美しい景色を堪能することができました。

その後、宿营地であるキャンプ場に引き返しました。キャンプ場に到着すると、最初にテント設営に取り掛かりました。

幸運にもキャンプ場に雪が残っていたので、予定どおり雪上テント設営の訓練を受けることが出来ました。

テント設営では、次の手順を教わりました。

先ず、テントのボトムが入る程度の広さの雪面から、スノーソーとスコップで縦 40 cm×横 30 cm×深さ 20 cm 程度のブロックを切り出し、ブロックは風よけ用にテント場の周囲に積み上げ、次に掘り起こした雪面を平らに均した後、組み立てたテントを雪面に置きます。次に、ペグの代わりに竹や枝を使い、これに、あさひもを結びつけ、あさひもとガイラインを S 字フックで繋ぎテントを固定します。この時、竹などは、雪面に対し水平にして雪に埋めます。この作業により、翌朝、最悪雪面が凍って竹などが抜けなくなっても、ガイラインを簡単に外すことができることを教わりました。

また、この作業中、ポールを雪で濡らせてはいけない事も注意を受けました。反省です。

テント設置の次には、卒業テストが行われました。テスト内容は当日発表ということで、受講生全員で協力して作業することだけを事前に聞いていました。

当日発表されたテストのお題は「シート搬送・梱包」でした。私は受講生の皆さんからリーダーの依頼を受けており、テキストの復習はしましたが、不完全で、到底満足のいく内容ではありませんでした。

一応、合格はいただきましたが、元々ロープワークを学びたくて登山教室に入った私にとっては、悔しい内容となってしまいました。特にロープワークは忘れない様、練習を続けたいと思います。

続いてスタッフがいつも携帯されていた救急用品

の中身を見せていただきました。

(写真提供 森本)

色々と参考になりました。

これらを参考にして、自分の救急用具に取り入れた
と思います。

この後は、晩餐会の始まりです。

スタッフや受講生の皆さんが、各々、重いお酒や食
材を持ち寄っていただくという嬉しいサプライズも
有り、夕食担当の方が用意されたキムチ鍋の辛味と相
まって、おいしく楽しいひと時となりました。

また、受講生が一人ずつ感謝の意を表する機会もい
ただき、中には感極まって話せなくなる方もおられ、
感慨深い最後の晩餐となりました。

翌朝、朝食担当の方の趣向を凝らした鯛のおかゆと
ドリップコーヒーをいただき、一服した後、テントを
片付け、雪のブロックを取り壊した後、比婆山、池ノ
段を經由して下山しました。

この日は晴天で、気持ち良い山行でした。

下山途中、最後の講習として雪面で滑落停止訓練と
来年度クライミング教室に参加する受講生の為に、エ
イトノットをハーネスに結索する方法も教えていた
だきました。

森本 CLをはじめスタッフの皆様からは最後の最後
まで、熱いご指導をしていただき、感謝の気持ちでい
っぱいになりました。

公園センター到着後、卒業式を終え、我々の登山教
室が無事終了しました。

この登山教室に参加し、多くのことを習得するこ
とができて、本当に良かったと思います。

同期受講生の島本さんが言われた言葉の繰り返し
になりますが、私も、森本 CL 率いる登山教室は日本一
だと思います。

今後は、テキストを読み返し、教えていただいたこ
とをしっかりと身につけて安全登山を楽しみたいと思
います。

スタッフの皆様、受講生の皆様、2 年間本当にあり
がとうございました。





4. 岳連短信

1. 寄贈御礼

3/20 三原山の会『筆影』No. 517 (4月号)

3/27 福山山岳会『会報』4月号

広島山岳会『山嶺』第 892 号 (3月)

広島やまびこ会『やまびこ』798

長野県山岳協会ニュース「やまなみ」No. 248

3/29・4/7『中信高校山岳部かわらばん』720・721

2. 4～5月の行事予定

4/15～16 国体県予選 (CERO)

4/22～23 比婆山スカイラン看板かけ・コース整備

5/13 総会 (東方 2001)

5/20～21 比婆山スカイランコース整備・リハーサル

5/20～21 中国地区自然保護研修会 (鳥取県)

5/27～28 登山フェスティバル・比婆山スカイラン

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。